

2021年12月28日

各 位

会 社 名 株式会社セキュアヴェイル
代表者名 代表取締役社長 米今政臣
(コード番号3042 JASDAQ)
問合せ先 経営企画本部 工内健太郎
(電話 06-6136-0026)

事業計画及び成長可能性に関する事項

当社は、本日開催の取締役会において2022年4月4日に移行が予定されている新市場区分において、「グロース市場」を選択し、申請することを決議いたしました。今後も持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、ここに「事業計画及び成長可能性に関する事項」を開示いたします。

記

(1) 事業の概要

当社グループは、インターネット黎明期である2001年の創業以来、情報セキュリティ対策に特化した専門事業者として、お客様にシステム環境を「安全に健やかに使い続けていただくこと」を追求してきました。経済活動を支える必要不可欠な社会インフラとして、お客様のネットワーク・セキュリティ運用を、24時間365日体制で、責任を持って、お手伝いさせていただくことが、創業時からのサービスポリシーです。

当社グループは、当社、連結子会社2社(株式会社キャリアヴェイル、株式会社LogStare)の計3社で構成されており、事業内容及び売上内訳、コスト構成は、以下のとおりです。

セキュリティ運用監視サービス

創業時からのSOCサービス

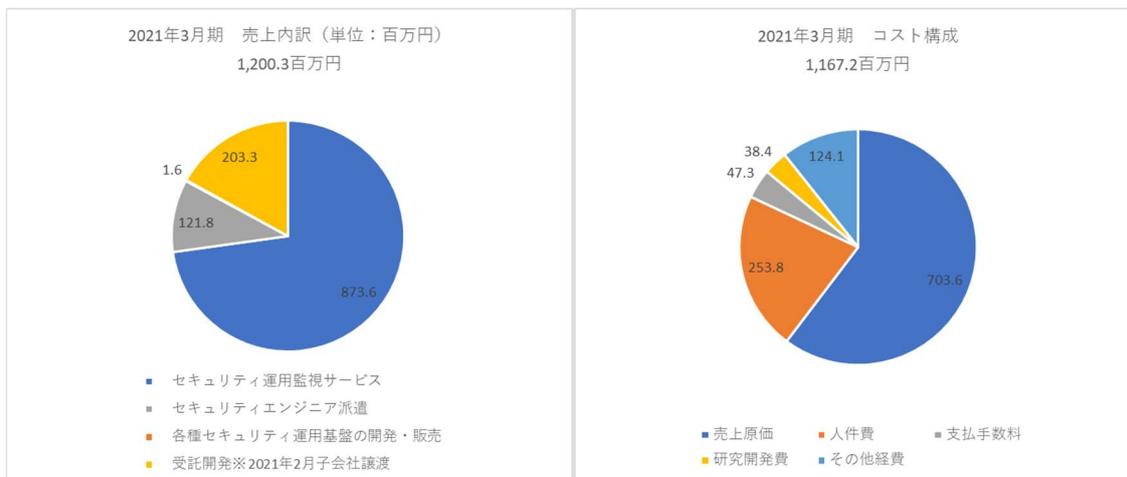
セキュリティエンジニア派遣

「セキュリティ人材の不足」という社会課題に解決策 2017年5月設立

各種セキュリティ運用基盤の開発・販売

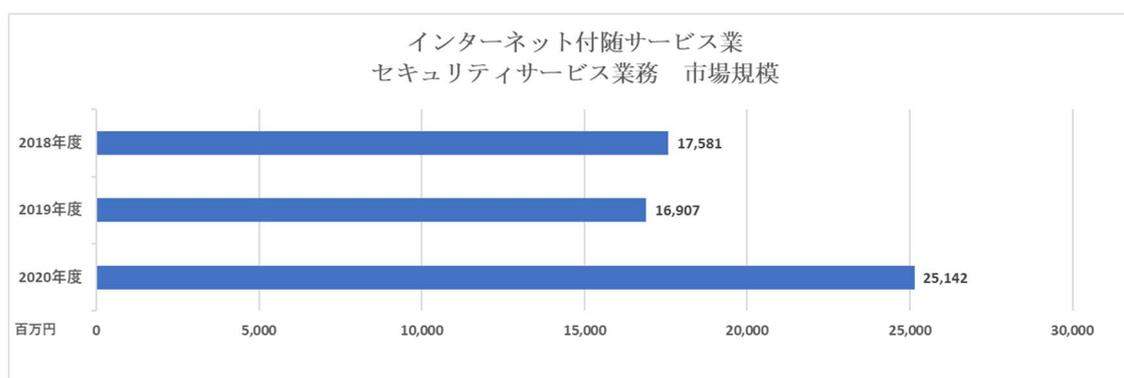
2020年8月設立





(2) 市場環境

当事業セグメントを取り巻く社会環境は、政府や地方自治体の新型コロナウイルス感染症拡大防止策による、在宅を前提としたテレワークや、Web 会議システムを始めとする企業のデジタル化の推進、情報漏洩や高度化する標的型攻撃、ランサムウェア等のサイバー攻撃に対する危機意識の高まり等、企業が情報資産を維持管理することは、重要な経営課題と認識されており、国策としての情報セキュリティ対策への取組みや、クラウドサービス、IoT (モノのインターネット) の普及により、情報セキュリティサービスの市場規模は拡大しており、投資額は中長期的に増大していくことが予想されます。



参考：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査6. インターネット付随サービス業」
(2021年9月分確報)

(3) 事業内容・競争力の源泉

(情報セキュリティ事業)

当事業セグメントは、セキュリティ運用監視サービス「NetStare® (ネットステア)」を主に展開する「株式会社セキュアヴェイル」、運用アウトソーシングサービス「CustomerStare (カスタマーステア)」を展開する「株式会社キャリアヴェイル」、より付加価値の高いサービスを提供するため、「ユーザーの運用に役立つ」というサービスコンセプトの下に各種セキュリティ運用基盤の開発・販売を主たる事業とする「株式会社 LogStare (ログステア)」の3社の事業部門から構成されております。

株式会社セキュアヴェイルの提供する「NetStare®」サービスとは、24時間365日体制でお客様のネットワークインフラを監視し、機器故障、通信障害、サイバー攻撃などをいち早く発見し、対応に当たる統合セキュリティ運用サービスです。SOC (Security Operation Center) と NOC (Network Operation Center) を融合させたプロフェッショナルサービスであり、監視業務はもちろん、ログ分析レポートの作成、セキュリティポリシーの改善提案、ネットワークの脆弱性診断など、お客様のITセキュリティを総合的に支援しております。IT業界の中でも変化のスピードが非常に速く、次々と生まれる新たな脅威や多様化する攻撃手段に対抗するため、知識のアップデートが欠かせません。専門性の高いセキュリティアナリストが必要とされるサービスです。

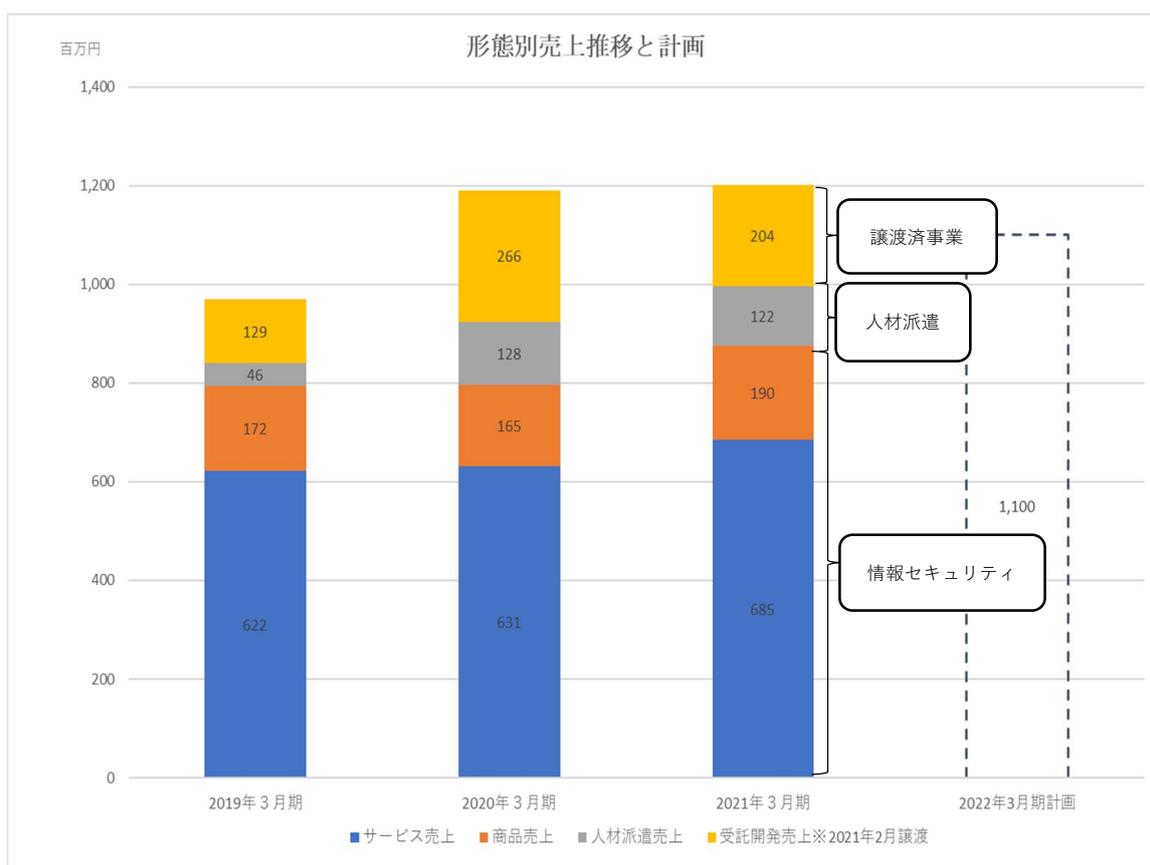
こちらのサービスラインアップには、セキュリティ機器の監視・障害時の復旧支援など正常稼働をマネージするサービス「NetStare® Lite (ネットステア ライト)」、セキュリティインシデント対応・ログ分析・診断レポートの実施や機器へのルール設定やバージョンアップなどのセキュリティオペレーションと、対象機器の監視でお客様のネットワークインフラを統合的にマネージメントする「NetStare® Suite (ネットステア スイート)」等、4つのサービスを揃え、サービス群の最上位サービスである「NetStare® Suite」につきましてはインターネットテクノロジーの国内最大級のイベントである「Interop Tokyo 2020」において、米国をはじめとする外資系IT企業や、製品が数多くエントリーされる中、セキュリティ運用業務を自動化する純国産製品として高評価を獲得し、「Best of Show Award」セキュリティ部門の審査員特別賞を受賞しております。創業から約20年にわたり、継続して提供してきた当社の強みである運用監視サービスへの信頼、国産技術によるセキュリティサービスが評価されたものと考えております。

次に、株式会社キャリアヴェイルの提供する「CustomerStare」は、「セキュリティ人材の不足」という社会課題に解決策を提示します。社内ネットワークの構築から、社員一人ひとりのPCのメンテナンスまで、限られた人数で幅広い業務に携わる中小規模の情報システム部門に代わり、株式会社セキュアヴェイルで培われたSOCサービスのノウハウにより、情報システムの安定稼働と障害の早期発見を、平日の有人監視と夜間・休日の自動監視とのハイブリッドで提供するサービスです。障害発生時の報告と対応支援、システム稼働状況の可視化とレポートも標準サービスに含まれますので、IT運用の属人化を防止し、最適なシステ

ム運用が実現できます。さらに、お客様のネットワーク・セキュリティの状況が一目で分かる UTM ログレポートも標準提供し、セキュリティ対策強化にもワンストップで活用されています。コロナ禍において、テレワークや DX（デジタルトランスフォーメーション）への急速な取組みが必要とされるなか、中小規模の企業において限られた人数で社内の IT 運用を担当する情報システム部門や、兼務部門の業務改善のための駆け込み寺として、セキュリティ人材の不足を解消するサービスです。

次に、従来のセキュリティ運用ソフトは、システム監視とログ管理に分かれ、さらにレポート作成や将来予測のための分析ツールも別途必要となり、すべてを導入し適切に運用することは、お客様の大きな負担となっていました。株式会社 LogStare の提供する「LogStare」は、システム監視、ログ管理、AI 予測、すべての機能を 1 つのソフトウェアで実現し、かつクラウドで提供することで、導入障壁・導入コストを最低限に抑え、すべてのお客様のセキュアな IT 運用を支援するセキュリティ運用プラットフォームです。

当事業セグメント内の形態別売上推移と 2022 年 3 月期売上計画額は、以下のとおりです。



当事業セグメントの売上構成は、月額料金で継続性の高いサービスであるセキュリティ運用監視サービスを主力とし、営業活動においても、安定したストック型サービスの新規獲得、契約更新に注力しておりますので、セキュリティ製品の商品売上は、サービス売上に付

随する形のみとなっております。2021年3月期の売上高に占めるサービス売上の割合は、前期比8.3%増となりました。引き続き、安定した収益の源泉であるストック型サービスの新規獲得、契約更新に取り組むことで、収益性を高めて参ります。

(人材派遣事業)

当事業セグメントは、連結子会社「株式会社キャリアヴェイル」を通じて、お客様への情報セキュリティエンジニア派遣を主としております。

企業の情報管理を取り巻く環境は、ネットワークの複雑化、IT技術の進歩や高度化が加速し、一段と難しくなっております。急速に普及するクラウドやモバイルの活用、さらにテレワークも網羅しなければならない情報セキュリティ対策は一企業のシステム担当者の守備範囲を越えた広がりを見せております。効果的な情報セキュリティ対策を行うには、専門知識を有するプロフェッショナルの助力が必要であることから、情報セキュリティエンジニア不足が慢性化している社会環境を見据え、情報セキュリティエンジニア志望者を募集し、育成プログラムを基に実習訓練を実施し派遣する、というビジネスモデルを提案しており、セキュアヴェイルの創業時から培った豊富な経験と、高度な専門知識を教育した情報セキュリティエンジニアを派遣することで、情報システム事業のサービスに加え、お客様の社内からもサポートできるようになりました。情報セキュリティエンジニアを育成し、派遣することで、ネットワーク化の進行する社会の要請に応えるべく、情報セキュリティエンジニア不足に悩むお客様のニーズの獲得に取り組んでおります。

また、情報セキュリティエンジニアを派遣するだけでなく、情報セキュリティ事業の既存のお客様へ従来の運用監視サービスに、情報セキュリティエンジニア派遣サービスを合わせたハイブリッド型のビジネスモデルをご提案できることも他社にはない強みであると認識しております。

(4) 事業計画

(情報セキュリティ事業)

2022年3月期も引き続き、政府や地方自治体による新型コロナウイルス感染症拡大防止策が社会・経済活動に影響を与え、先行きについて不透明な状況が継続しておりますが、巣ごもり需要や、社会のネットワーク化を始めとするコロナ禍での新たな需要を捉えて、上振れする企業も出てきております。当社グループもこのような経済環境を好機と捉え、経営資源を新たな需要として求められているテレワークやクラウド環境に対応したセキュリティ製品の開発、セキュアなネットワーク環境の構築、運用サービス等に投入し、機動的にセキュリティ運用基盤の開発、販売機能を構築するため、2020年8月に連結子会社「株式会社LogStare」を設立しました。新会社設立後の動きとしましては、当社グループの主力であるストック型サービスは、売上計上にサービス期間に応じた期間按分が必要でしたが、一括で売上計上できる自社開発ソフトウェアのラインアップを中長期的に拡充し、ディストリビ

ユーザーパートナーや、まだ数社ではありますが、テクニカルパートナーを通じて販売網の拡大に努め、利益率の高い自社開発ソフトウェアの安定的な拡販に取り組むことで、当社グループの重要な指標である営業利益率の向上に寄与するものと考えております。

また、このコロナ禍において、お客様の事業環境も急速に変化しており、自社システムや社内ネットワークについてもクラウド化が進行し、これまでのベンダー任せではなく自社運用が増加しており、多くの IT エンジニアが情報システム部門に所属するようになりました。当社グループの扱う製品・サービスは、B to B の商材であることから、お客様の情報システム部門に勤務する IT エンジニアへの直接的な知名度向上や、新規顧客獲得活動の一環として、業界初の IT エンジニア限定の e スポーツ大会 「LogStare eSports Series」 第 1 回大会を 2021 年 6 月に開催し、200 名以上の参加希望者を集めることができました。11 月の第 2 回大会では、第 1 回大会の約 3 倍の参加希望者を数えました。これらセールスプロモーションや、オンラインセミナー等を通じたマーケティング活動により、知名度の向上による顧客層拡大を狙い、新規顧客獲得活動と、サービス満足度を高めるための提案活動に取り組んでおります。

また、引き続き、既存販売パートナーとの連携強化に加え、新たに大きな販路を持つ新規販売パートナーとの提携を推し進めており、これまでの販売先の中心であった情報通信業に加え、製造業や地方自治体にも販路を拡大し、売上高の増大に取り組めます。

子会社である「株式会社キャリアヴェイル」では、これまでのセキュリティエンジニア派遣で培った人的リソースを有効に活かし、IT 人材不足を課題に抱える中小企業の情報システム部門の業務を幅広く下支えする運用アウトソーシングサービス「CustomerStare」を、2020 年 9 月から事業展開するため、財務基盤の強化を目的に 2020 年 5 月に増資を行い、予定通りサービス提供を開始しております。2021 年 4 月には、サービス内容強化を行い、IT インフラ監視に加え、中小企業で導入数の多い UTM（統合脅威管理）の監視・ログレポートを標準サービスとして提供することで、中小企業のセキュリティ意識の向上や適切なセキュリティ運用の定着に寄与できるよう取り組んでおります。

さらにこのコロナ禍においては、積極的に営業活動を行うには制限があり、より利益率の高い企業体質にするため、グループ内で業務の選択と集中を進め、2021 年 2 月にシステム受託開発を主たる業務とする連結子会社の全株式を外部へ譲渡しました。当社グループが経営の重要な指標としている営業利益率の高い企業体質にするために、ストック型の運用監視サービスを提供する株式会社セキュアヴェイルを中心として、情報セキュリティ事業に集中し、さらなるサービスレベルの向上や製品・サービスラインアップの拡大、グループ会社の相乗効果の強化に繋げて参ります。

(人材派遣事業)

当事業セグメントについては、情報セキュリティエンジニアの派遣という継続性のあるビジネスモデルを主として展開しているため、安定して20名以上の派遣スタッフが稼働しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、新規顧客への営業活動、人員の採用活動が停滞しております。当事業セグメントでは、情報セキュリティエンジニアを増員することで売上高を増加させる方針としており、増資を行い、財務基盤を強化しましたので、引き続き積極的に採用・教育活動を行い、グループシナジーを生かして各社が持つ強み、ノウハウを相互活用することで、業績目標の達成に取り組めます。また、主としているのが情報通信業界への派遣であるため、他の業種よりコロナ後を見据えた「新たな働き方」への変化が速いことから、テレワーク等への勤務形態の変更に柔軟に対応し、受注に繋がります。

当事業セグメントにおいては、情報セキュリティエンジニアを十分に確保し続けるのが前提条件ではありますが、2024年3月期におきましては、売上高160百万円規模を見込んでおります。

当社グループの連結業績目標

	2020年3月期実績	2021年3月期実績	2022年3月期目標	2023年3月期目標	2024年3月期目標
売上高	1,190	1,200	1,100	1,210	1,350
営業利益	77	33	106	115	135
営業利益率	6.5%	2.8%	9.6%	9.9%	10.0%
経常利益	78	35	110	120	133

(単位：百万円)

※2021年3月期の営業利益は、当年度が経営戦略上の大きな転換期と捉え、当初想定よりも積極的な事業投資を行い、新規に各種セキュリティ運用基盤の開発・販売を担うための子会社「株式会社 LogStare」の設立や、子会社「株式会社キャリアヴェイル」にて新規に事業展開した運用アウトソーシングサービス「CustomerStare」を軌道に乗せるため、追加の先行投資費用を計上

(5) 当社の将来の成長と事業計画の実行に影響を及ぼすと思われるリスク

以下は、将来の成長や事業計画の実行に影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

① システム障害について

(発生可能性：中 時期：不明 影響度：大 重要度の前年からの変化：同)

当社グループのサービスは、コンピュータシステムと通信ネットワークに大きく依存しております。したがって、当社グループのサービスは、システム障害、自然災害等の予期せぬ事由により、提供を停止せざるを得ない状況が起こる可能性があります。

当社グループでは、想定される障害に備え、自家発電設備を備えた耐震性、漏水防止性、防火性等に優れたインテリジェントビルでのサービス提供、及び技術的対応を講じております。万一かかる事態が発生した場合には、当社グループの業績と財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

② 競合について

(発生可能性：中 時期：中長期 影響度：不明 重要度の前年からの変化：同)

当社グループでは、先端技術や基盤技術の習得に努め、研究開発に積極的な投資を行っておりますが、OSベンダーや、コンピュータハードウェアベンダーの多くの企業において、当社グループが提供する機能を有するソフトウェアと同様の機能を自社開発したうえで、その機能を付加し、製品を強化する可能性があります。もし、その機能が当社グループの製品と比べて高品位なものであれば、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

【本資料に関するご留意事項】

本資料には、当社グループに関する見通し、将来に関する計画、業績目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する当該記述を作成した時点における仮定に基づくものであり、実際には今後の様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。特に新型コロナウイルスの感染拡大により、市場環境が大幅に変動した場合には、予想数値と異なる可能性があります。

「事業計画及び成長可能性に関する事項」の更新は、今後、本決算発表時期を目途に開示を行う予定です。次回の更新は、2022年6月を予定しております。